

土砂災害から地域の暮らしを守り続けます

姫川砂防事務所砂防課
担当：黒岩
TEL：0261-82-3100

○ 管内での主な災害履歴

- 昭和17年 4月 1日 **姫川砂防事務所設置**
// 20年 2月22日 北小谷村李平地区で全層雪崩発生。1名死亡
- 昭和34年 9月26日 **伊勢湾台風通過**
流失家屋114戸。災害救助法適用
- 昭和36年 3月30日 **清水山地すべり**。中谷川せき止める
土量100万m³ 家屋全壊2戸、半壊3戸
6月23日 清水山再度地すべり。中谷川せき止める
白馬村降雨275mm記録。山の神付近破堤
- 昭和46年 7月16日 **小土山崩壊。姫川本流せき止める**
// 59年 2月 3日 小谷村で大雪による雪崩被害発生
災害救助法適用
- 平成 7年 7月11日 長野県北部梅雨前線豪雨**
総雨量389mm、時間最大雨量48mm
災害救助法適用。家屋全壊28戸
- 平成 8年12月 6日 蒲原沢で土石流発生。死者14名**
// 11年10月28日 濁沢で土石流発生。JR橋埋没
15日間不通となる
- 平成26年11月22日 長野県神城断層地震発生。震度6弱**
地すべり14箇所、山腹崩壊1箇所、
崖崩れ4箇所発生
- 平成29年 6月29日 梅雨前線豪雨。総雨量727mm**
10月22日 台風21号。最大時間雨量32mm



S46 小土山地すべり災害
(一)姫川をせき止め(国)148号へ溢水



H7豪雨災害 常蔵沢で発生した土石流
がJRの軌道とシェッドを破壊



H26地震災害 八方岩で土砂崩壊
村道及び民家が全壊

土砂災害から地域の暮らしを守り続けます

姫川砂防事務所砂防課
担当：黒岩
TEL：0261-82-3100

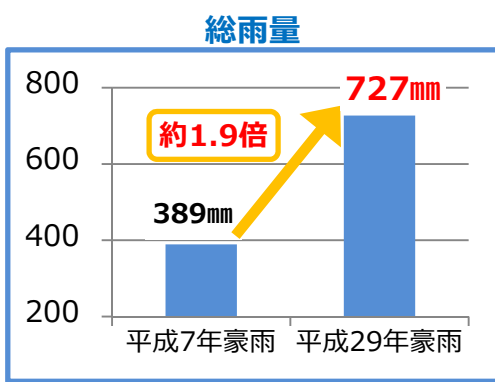
【家屋被害の低減】

平成29年6月29日からの梅雨前線豪雨では、総雨量約**700mm超**を記録
平成7年豪雨の約**1.9倍**の降水量があったが**家屋被害はゼロ** [※1]



砂防堰堤の整備効果

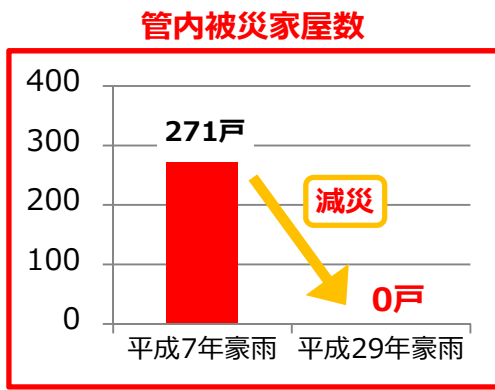
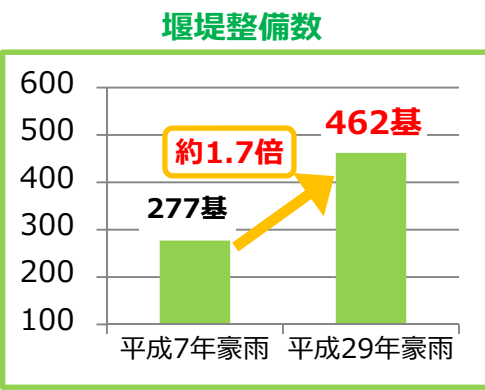
- ※1) 最大時間雨量「H7=48mm/h, H29=22mm/h」
観測値は長野県管理雨量局を集計 [※2]
- ※2) 平成29年10月の台風21号では、
最大時間雨量「32mm/h」を記録



H7豪雨で被災した(国)148号と北小谷駅



H29豪雨で土砂捕捉(砂)くるみ沢



【公共交通機関の保全】

○ JR大糸線と(国)148号を保全

平成7年豪雨でJR大糸線及び(国)148号が不通となる



平成8年 1月 (国)148号復旧 → 交通量増加 (H6→H27) 4,644台 → 5,926台(28%増)

平成9年11月 JR大糸線全線復旧 → 平成10年オリンピック時 年間利用者約18万人

【観光資源として活用】

○ 観光ツアーとして土木アート砂防ダム巡りバスツアーをH24年より実施

実施回数 **18回** (参加総数**240人**)

○ 砂防施設の魅力発信のため、砂防カードをH28年より作成

初回版配布枚数1500部 (終了)
H29年より第2版配布開始

